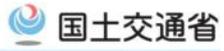


インフラ DX に関する優れた取組を行った 24 団体を発表！
～令和5年度 インフラ DX 大賞の受賞者を発表します～

○工事・業務部門

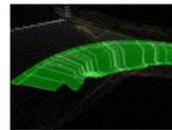
NO	表彰の種類	業者名	工事／業務名	発注地域等
1	国土交通大臣賞	日本ファブテック株式会社	国道7号 切石高架橋上部工工事	東北
2	優秀賞	荒井建設株式会社	一般国道40号 中川町琴平東法面工事	北海道 開発局
3	優秀賞	萩原・菱中経常建設共同企業体	雨竜川下流農地防災事業 雨竜川八丁目頭首工取水樋門改築外工事	北海道 開発局
4	優秀賞	若築建設株式会社 東北支店	八戸港八太郎・河原木地区航路泊地(埋没)付帯施設築造工事	東北
5	優秀賞	株式会社 建設技術研究所	R4AI技術活用ダム管理システム改良検討業務	関東
6	優秀賞	東亜・若築・大本特定建設工事共同企業体	横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)築造工事	関東
7	優秀賞	五洋建設株式会社 北陸支店	新潟空港進入灯(10側)橋梁工事	北陸
8	優秀賞	株式会社 フジヤマ	令和4年度 紀勢国道電線共同溝設計業務	中部
9	優秀賞	株式会社 小森組	令和3年度 道改交金 第139号-3 長井古座線道路改良工事	和歌山県

9.令和3年度 道改交金 第139号-3 長井古座線道路改良工事 

推薦者	近畿地方整備局
発注者	和歌山県
業者名	株式会社小森組
工期	2022年6月14日～2022年12月25日
施工場所	和歌山県東牟婁郡串本町
請負金額	20,160,800円



TLS(自社所有)による
起工・出来形測量



自社での3次元設計
データ作成

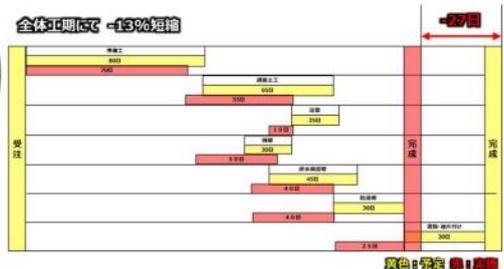
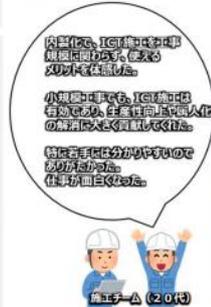


MC建機(自社所有)に
よる床掘



条件によるICT建機の
使い分け
左:0.8m3 右:0.15m3

【取組概要】
「3次元起工測量」「3次元設計データの作成」「マシンコントロール建機(以下 MC建機)の活用」「3次元出来形測量」「データの納品」までを外注することなく、工事を完成。作成した設計データを測量機に搭載することで、測量は全てワンマンで行い、省人化できた。現場条件に従って、0.8m3～0.15m3級のMC・MG建機を使用し、床掘や掘削は全てICT建機で行った。現場管理者は20代で構成したが、3次元設計データをもとにした管理方法やICT建機の活用は、経験者と変わらない精度、品質を確保し、属人化を解消した。結果的に27日の工程短縮(約13%の生産性向上)できた。小規模工事においてもICT施工が生産性向上に有効だと立証できた。



- 現場代理人を含め20代の若手職員で工事を進め、3次元設計データを元にしたワンマン測量では、経験の浅い職員でもベテラン職員と同様の精度、品質にて施工を進めることができ、全ての掘削にMC建機を使用したことで、運転手の技量に依存せず、属人化の解消につながった。結果的に施工や出来形管理、工程管理に要する日数を27日削減(約13%の工期短縮)し、若手職員のみで工事を完成させた。
- ICT施工の全業務を内製化し、小規模な構造物の床掘がほとんどであったが、現場条件に従って、サイズの異なるICT建機を使い分けし、ICT建機のみで施工を完了させ、丁張設置や確認手間の大幅な削減など、小規模土工においても生産性向上に有効だと立証し、波及性が高い。
- 発注者に対して、ICT機器を体験できる貴重な機会を提供し、職員の意識向上に貢献。